

こころとからだに、  
おいしいものを。



## 2017年度 第1四半期 決算概要

---

ダイドーグループホールディングス株式会社  
(東証一部：2590)

2017年5月26日

- 1. 2017年度 第1四半期決算概要／通期業績予想**  
**P.3～18**
  - 2. 当社グループのビジネスモデル**  
**P.19～23**
  - 3. 持続的成長の実現をめざして**  
**P.24～32**
- 
- APPENDIX**  
**P.33～39**

こころとからだに、  
おいしいものを。



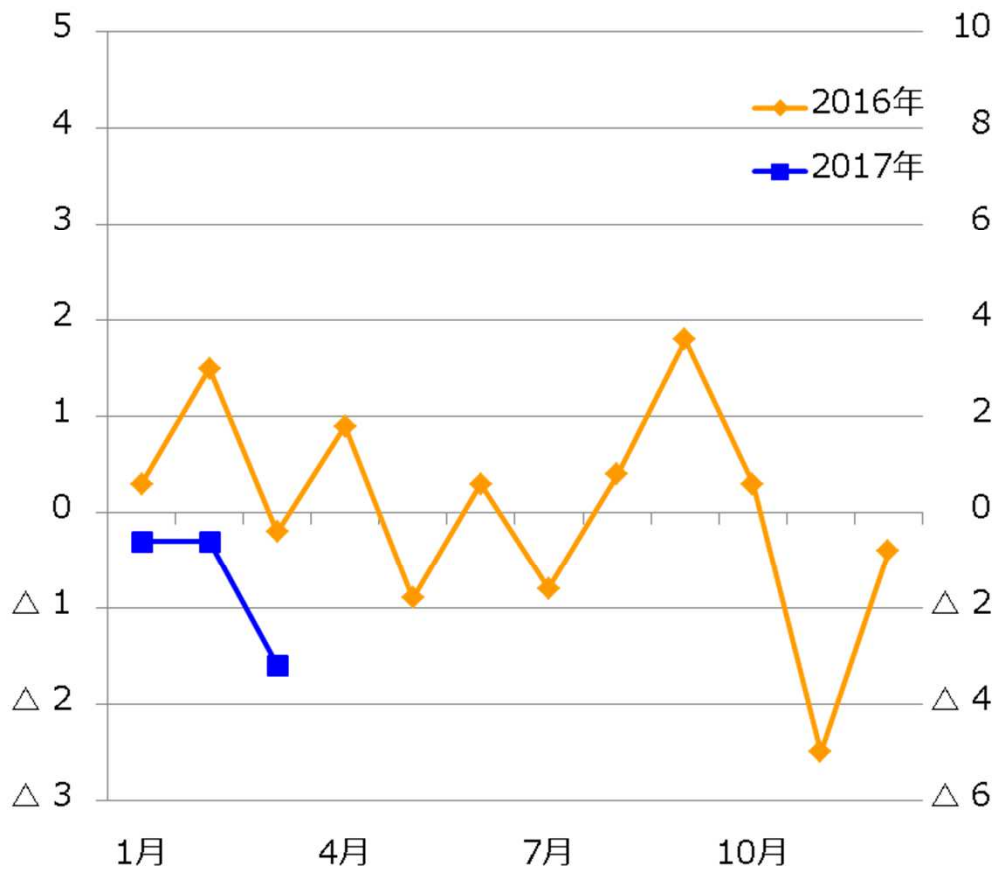
# 1. 2017年度 第1四半期 決算概要／通期業績予想

---



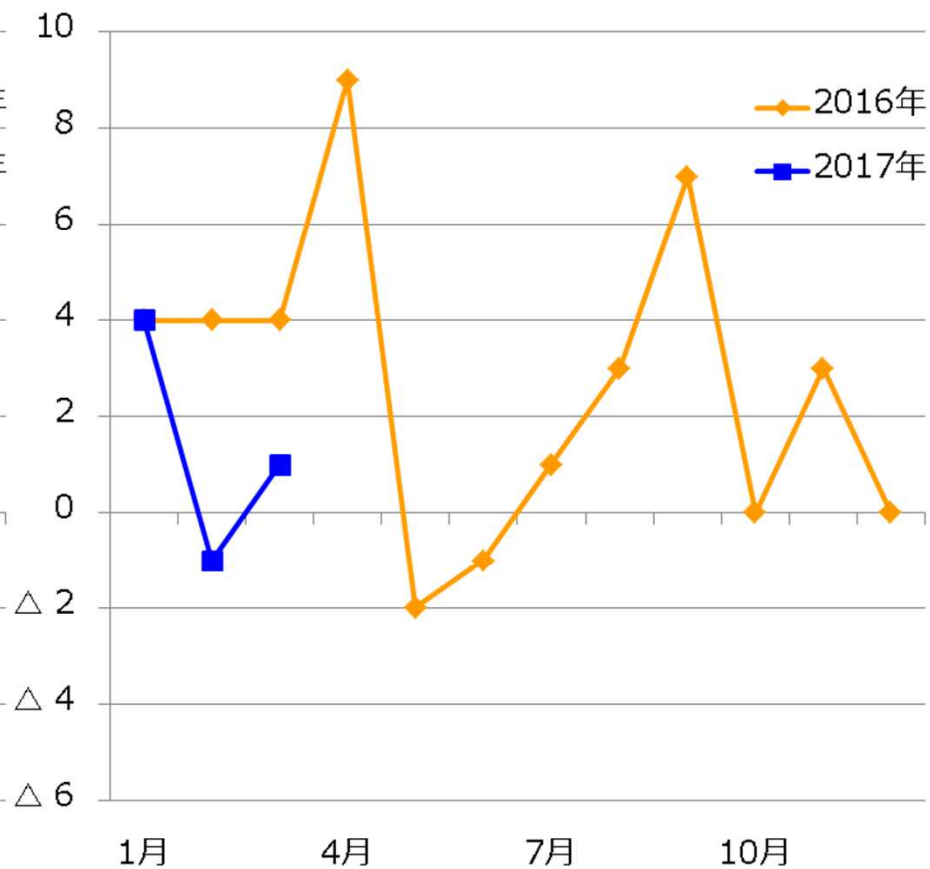
## ➡ 第1四半期は低温傾向であったものの、販売数量は比較的堅調に推移

### 平均気温の前年差（地点：東京）



※左グラフ：気象庁データ（気象観測データ）より当社作成

### 国内飲料市場の前年比推移



※右グラフ：当社調べ

こころとからだに、  
おいしいものを。

# 2017年度 第1四半期 連結決算の概要



- ➡ 第1四半期は各セグメントともに販売・受注が堅調に推移
- ➡ 前年2月に取得完了したトルコ飲料事業の販売実績が期初より寄与
- ➡ 国内飲料事業の売上増、医薬品関連事業の受注増などが利益面に貢献
- ➡ 前年第1四半期に負ののれん発生益等を特別利益に計上していたため、親会社株主に帰属する四半期純損失は4億3百万円

単位：百万円

	第1四半期 (1/21~4/20)					通期				
	2016年度実績		2017年度実績			2016年度実績		2017年度業績予想		
		構成比		構成比	増減率		構成比		構成比	増減率
売上高	38,204	100.0%	38,940	100.0%	1.9%	171,401	100.0%	175,500	100.0%	2.4%
営業利益	△ 391	-	△ 53	-	-	3,857	2.3%	5,300	3.0%	37.4%
経常利益	△ 521	-	△ 50	-	-	3,741	2.2%	5,200	3.0%	39.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 239	-	△ 403	-	-	3,269	1.9%	3,000	1.7%	▲8.2%

EPS	△ 14.44円	△ 24.37円	68.8%	197.34円	181.08円	▲8.2%
1株当たり配当金	-	-	-	60円	60円	-

※前第2四半期連結会計期間において企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前第1四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表については、取得原価の配分額の重要な見直しが反映されております。

こころとからだに、  
おいしいものを。



# 2016年度第1四半期 連結業績／2017年度通期業績予想

## － 詳細 －

単位：百万円

	2016年度 第1Q実績	2017年度 第1Q実績		2016年度 通期実績	2017年度通期業績予想			
		増減率	増減額		増減率	増減額		
国内飲料事業	29,451	29,698	0.8%	247	128,278	129,400	0.9%	1,122
海外飲料事業	2,939	3,331	13.4%	392	16,735	19,100	14.1%	2,365
医薬品関連事業	2,288	2,408	5.2%	119	9,068	9,500	4.8%	432
食品事業	3,717	3,697	△0.5%	△20	18,013	18,180	0.9%	167
調整額	△191	△195	－	△3	△695	△680	－	15
<b>売上高合計</b>	<b>38,204</b>	<b>38,940</b>	<b>1.9%</b>	<b>735</b>	<b>171,401</b>	<b>175,500</b>	<b>2.4%</b>	<b>4,099</b>
国内飲料事業	△103	354	－	458	3,958	6,100	54.1%	2,142
海外飲料事業	△389	△366	－	22	△1,266	△410	－	856
医薬品関連事業	252	354	40.5%	102	944	835	△11.5%	△109
食品事業	△148	△71	－	76	212	345	62.7%	133
調整額	△2	△324	－	△321	9	△1,570	－	△1,579
<b>営業利益合計</b>	<b>△391</b>	<b>△53</b>	<b>－</b>	<b>338</b>	<b>3,857</b>	<b>5,300</b>	<b>37.4%</b>	<b>1,443</b>

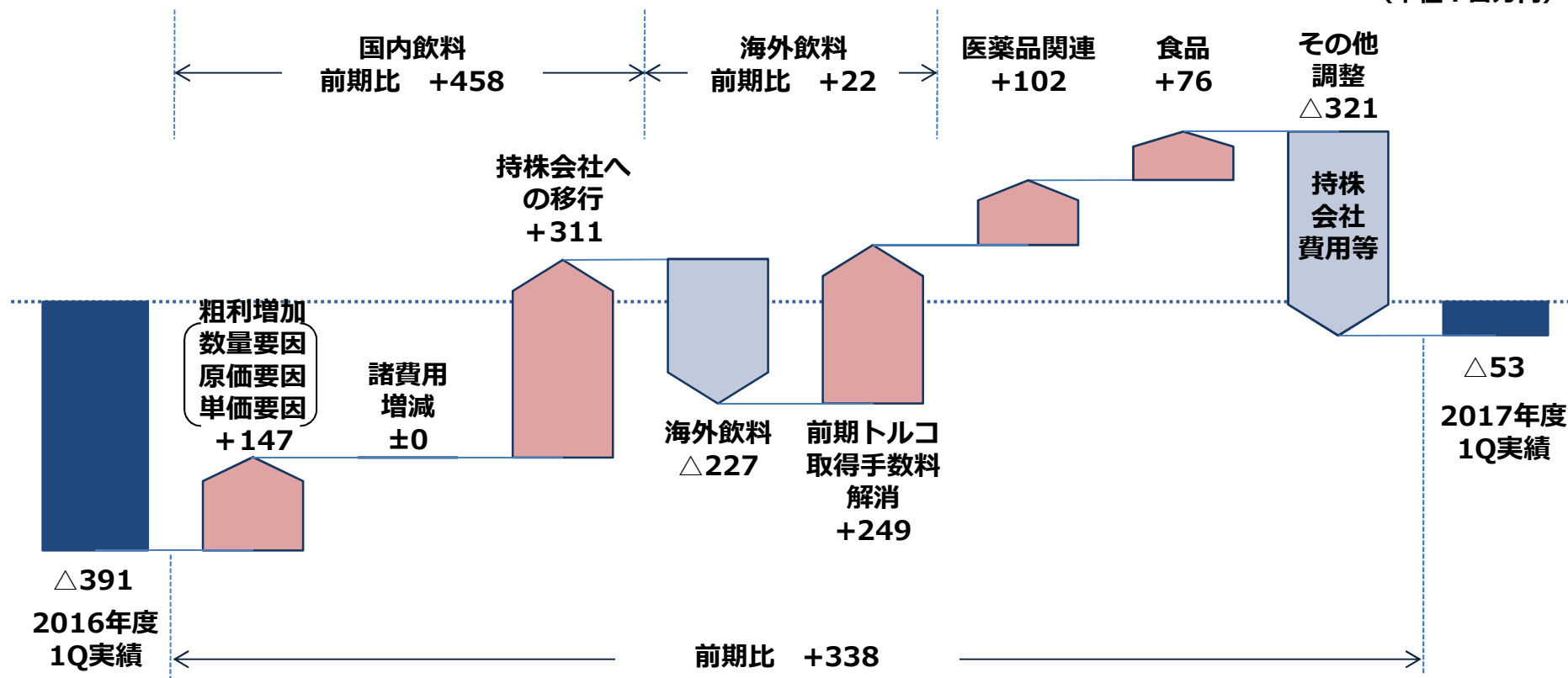
こころとからだに、  
おいしいものを。



# 2017年度 第1四半期 営業利益の増減要因 – 前年同期比 –

- ➡ 国内飲料事業は販売数量増と平均販売単価改善による粗利増
- ➡ 前年第1四半期に計上したトルコ飲料事業の取得手数料は一過性のため解消
- ➡ 医薬品関連事業は組織的な提案営業による受注拡大が利益に貢献
- ➡ 食品事業は生産・調達をはじめとする全社的な取り組みが奏功

(単位：百万円)



ここからだに、  
おいしいものを。

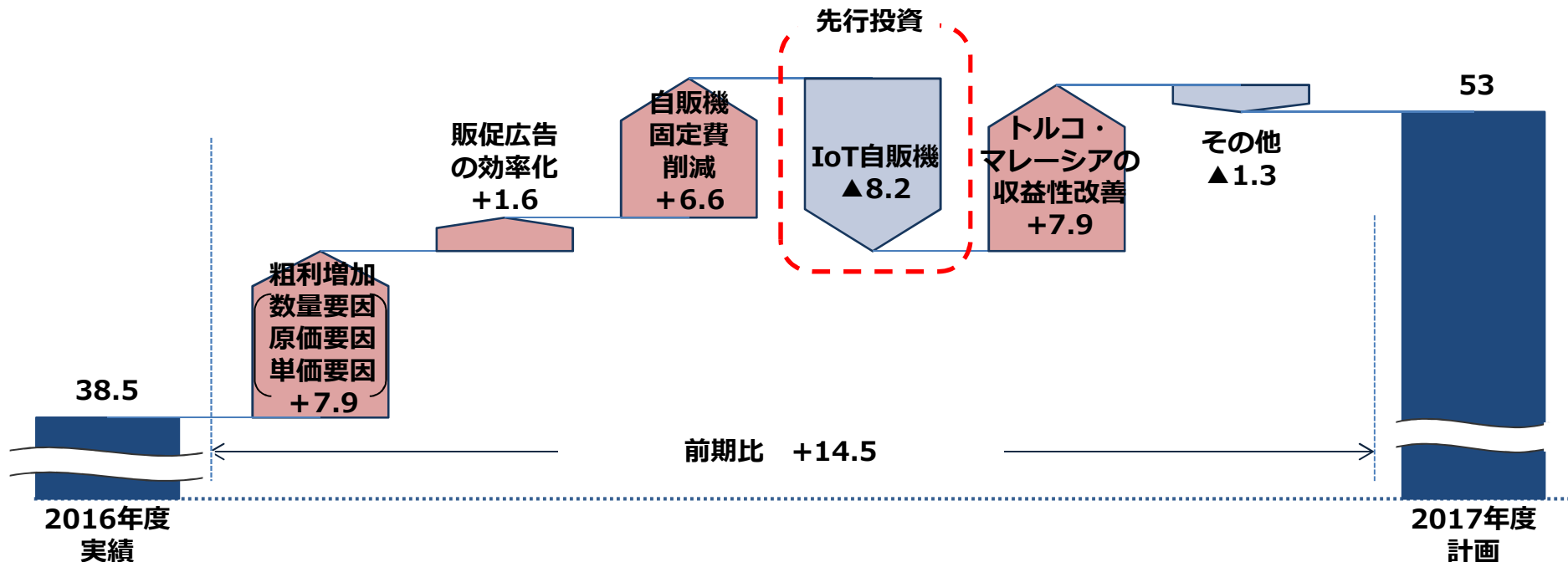
## <ご参考>

# 2017年度 通期予想 営業利益の増減要因



- ➔ 国内飲料事業の販売数量は前期比0.2%増
- ➔ 自販機パーマシンの維持・向上
- ➔ キリン向け「世界一のバリスタ※」シリーズの売上寄与の拡大
- ➔ 自販機固定費削減分は将来の成長に向けてIoT自販機に投資
- ➔ 海外飲料事業はビジネス基盤確立と収益改善に注力

(単位：億円)



※ワールドバリスタチャンピオンシップ 第14代チャンピオン ピート・リカータ氏



こころとからだに、  
おいしいものを。

# セグメント別概況



## 【国内飲料事業】

※連結調整前の数値 単位：百万円

	2016年度 第1Q実績	2017年度 第1Q実績		2016年度 通期実績	2017年度通期業績予想			
		増減率	増減額		増減率	増減額		
売上高	29,451	29,698	0.8%	247	128,278	129,400	0.9%	1,122
営業利益	▲103	354	-	458	3,958	6,100	54.1%	2,142

## 【海外飲料事業】

※連結調整前の数値 単位：百万円

	2016年度 第1Q実績	2017年度 第1Q実績		2016年度 通期実績	2017年度通期業績予想			
		増減率	増減額		増減率	増減額		
売上高	2,939	3,331	13.4%	392	16,735	19,100	14.1%	2,365
営業利益	▲87	▲278	-	▲191	▲657	▲30	-	627
のれん等償却額	52	88	69.0%	36	359	380	5.8%	21
のれん等償却後営業利益	▲139	▲366	-	▲227	▲1,017	▲410	-	607
取得時手数料	249	0	-	▲249	249	-	-	▲249
差引後営業利益	▲389	▲366	-	22	▲1,266	▲410	-	856
トルコリラ	39.25	30.67	▲21.9%	▲8.58	36.13	33.00	-	▲3.13
マレーシアリングット	28.04	25.48	▲9.1%	▲2.56	26.44	25.00	-	▲1.44

こころとからだに、  
おいしいものを。

# セグメント別概況



## 【医薬品関連事業】

※連結調整前の数値 単位：百万円

	2016年度 第1Q実績	2017年度 第1Q実績		2016年度 通期実績	2017年度通期業績予想			
		増減率	増減額		増減率	増減額		
売上高	2,288	2,408	5.2%	119	9,068	9,500	4.8%	432
営業利益	252	354	40.5%	102	944	835	▲11.5%	▲109

## 【食品事業】

※連結調整前の数値 単位：百万円

	2016年度 第1Q実績	2017年度 第1Q実績		2016年度 通期実績	2017年度通期業績予想			
		増減率	増減額		増減率	増減額		
売上高	3,717	3,697	▲0.5%	▲20	18,013	18,180	0.9%	167
営業利益	▲60	16	-	76	564	697	23.6%	133

こころとからだに、  
おいしいものを。

## 2017年度 第1四半期 国内飲料事業 月別販売数量の推移



- ➔ 第1四半期の販売数量実績累計は前期比0.9%増
- ➔ 当社自販機における販売は低温傾向の影響を受ける
- ➔ 3月までは昨年4月より開始したキリンビバレッジ向けの出荷が寄与するも4月は昨年初期出荷の反動減
- ➔ コンビニエンスストアなどの流通チャネルにおいて「世界一のバリスタ※監修」シリーズ、「大人のカロリーミットはとむぎブレンド茶」が好調に推移

	2月期	3月期	4月期	第1四半期計		第1四半期 チャネル別内訳			
	増減率	増減率	増減率	販売数量 (千箱)	増減率	自販機		その他	
						販売数量(千箱)	増減率	販売数量(千箱)	増減率
コーヒー飲料	3.5%	7.7%	△ 1.8%	8,346	2.8%	6,616	1.6%	1,730	7.5%
茶系飲料	12.7%	13.8%	1.0%	1,752	8.5%	1,422	△ 3.9%	329	146.4%
その他飲料	△ 13.9%	△ 3.8%	△ 4.6%	3,211	△ 7.0%	2,931	△ 6.8%	279	△ 8.3%
合計	0.5%	5.5%	△ 2.2%	13,310	0.9%	10,971	△ 1.5%	2,339	14.2%

稼働日前期比増減	△ 1日	±0日	±0日	△ 1日
----------	------	-----	-----	------

※ワールドバリスタチャンピオンシップ 第14代チャンピオン ピート・リカータ氏

こころとからだに、  
おいしいものを。

## <国内飲料事業> 「ダイドーブレンド」ブランドの強化

**DyDo**

### ➡ダイドーブレンド うまみBlendのリニューアル

—若年層ユーザーの獲得 + ボリューム市場（ショート缶）活性化—



- “コーヒー本来のうまみ”のおいしさを表現した新デザイン
- 新味覚“うまみ”の味わい示唆によるトライアルの後押し
- うまみ高いおいしさへ進化
- 「うまみ」が感じられる新しい味わいの加糖ブラックアイスコーヒーを新たに上市

こころとからだに、  
おいしいものを。

## <国内飲料事業> 「ダイドーブренд」ブランドの強化



### ➡ ダイドーブрендブランドの販路拡大

- ➡ キリンビバレッジ(株)自販機でのダイドードリンク商品販売を継続
- ➡ 対象商品を「世界一のバリスタ※監修」シリーズ2品に統一し、自販機訴求力を高める

DyDo

KIRIN



DyDo自販機では「午後の紅茶 ミルクティー」「メッツコーラ (トクホ)」の2品をセットし、一層の効果創出を図る (アイテム数変更なし：2品)

※ワールドバリスタチャンピオンシップ 第14代チャンピオン ピート・リカータ氏



こころとからだに、  
おいしいものを。

## <国内飲料事業> 新たな付加価値を備えた商品の展開



➡ お客様の健康志向に対応した付加価値の高いイノベーティブな商品の展開

➡ **ダイドードリンク初の機能性表示食品**  
**「大人のカロリーミット はとむぎブレンド茶」**

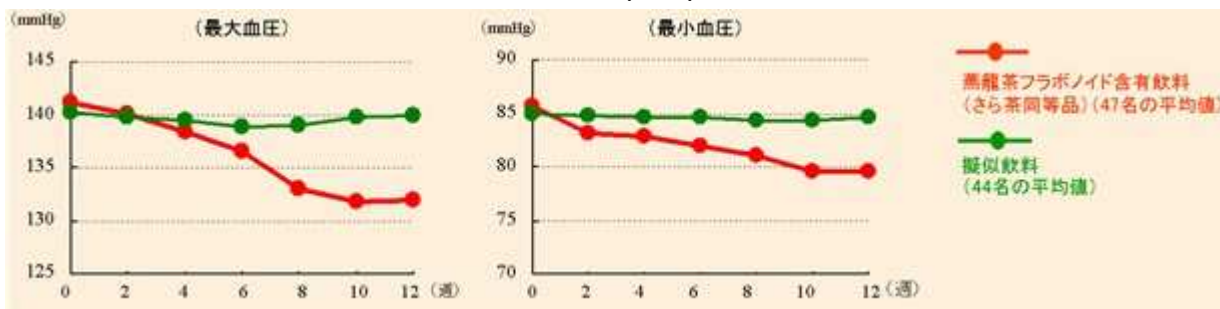
- ✓ 発売から約4か月で販売本数1,000万本突破！
- ✓ 3月末より自動販売機でもテスト販売開始

➡ **血圧が高めの方に、トクホの中国茶**  
**「さら茶（特定保健用食品）」**

- ✓ 羅布麻葉100%使用の本格的な中国茶
- ✓ すっきり飲みやすい味わい



下グラフ【燕龍茶フラボノイド含有飲料1本（500ml）飲用による効果】  
血圧が高めの方を対象に、燕龍茶フラボノイド含有飲料(47名)、擬似飲料（44名）を1日1本（500ml）飲用



参考文献：燕龍茶フラボノイド含有飲料の正常高値血圧者および軽症高血圧者に対する降圧効果. Health Sciences .21 : 115-129, 2005



こころとからだに、  
おいしいものを。

## <国内飲料事業> Smile STANDの展開を推進

**DyDo**

- ➡ I o T 自販機の本格展開とアプリ内のコンテンツを拡充
- ➡ Smile STANDに“必ず景品がもらえる”コンテンツ初登場！  
「CLUB DYDO※」応募サービスを開始  
～あなたと自販機をつなぐコンテンツ第8弾！4/1よりスタート！～



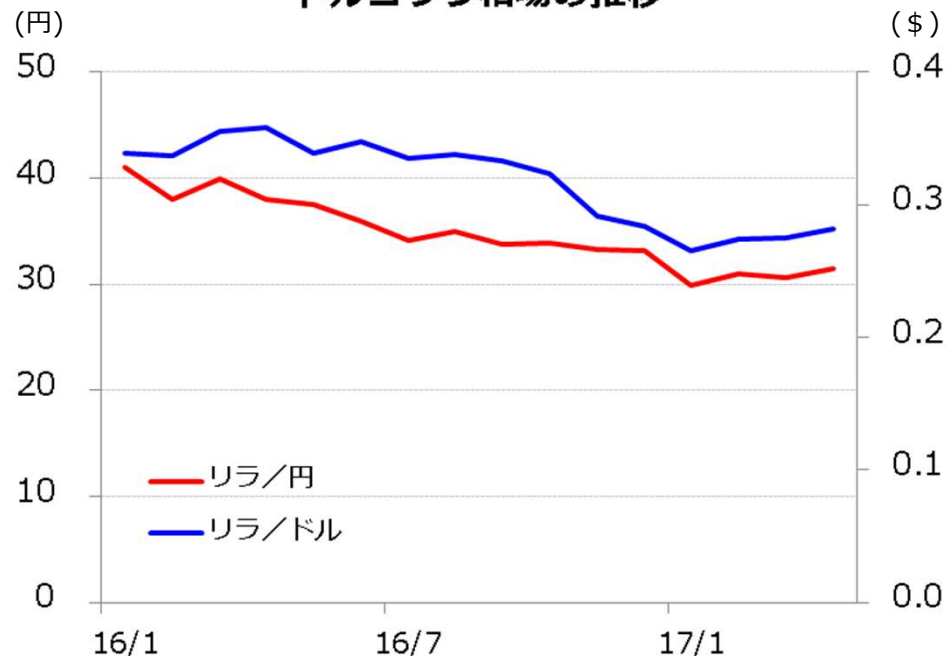
※今年で20年目を迎える当社ポイントカード対応自販機で実施しているポイントカードキャンペーン

## <海外飲料事業> 為替換算レートの状況

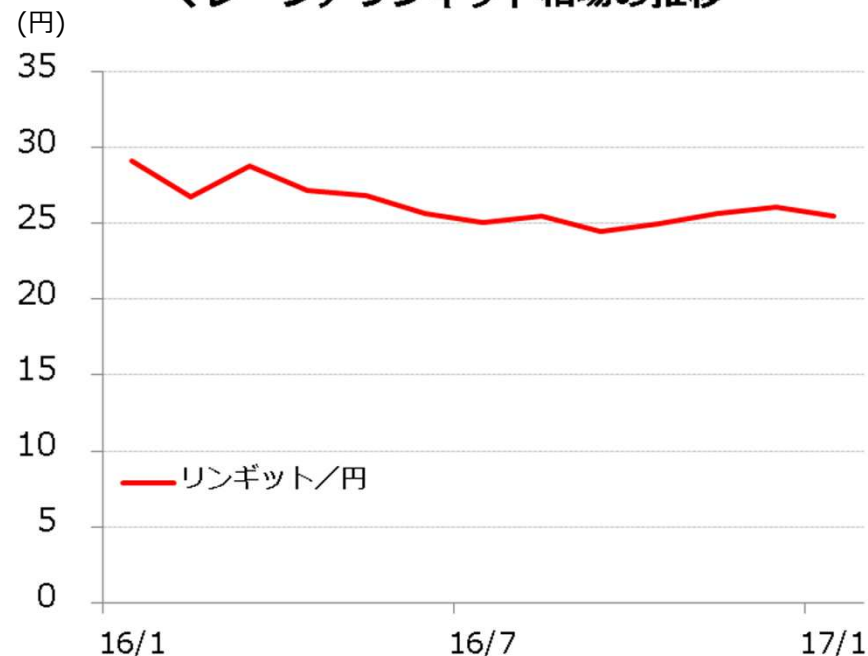


### トルコリラ/マレーシアリングットの状況

トルコリラ相場の推移



マレーシアリングット相場の推移



トルコリラ		第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
2017年度	累計実績	30.67円			
	年間想定	33円			
2016年度	累計実績	39.25円	38.43円	37.08円	36.13円
	年間実績	36.13円			

マレーシアリングット		第1Q	第2Q	第3Q	第4Q
2017年度	累計実績	25.48円			
	年間想定	25円			
2016年度	累計実績	28.04円	27.58円	26.80円	26.44円
	年間実績	26.44円			

※トルコ事業の取得完了日：2016年2月3日



## ＜医薬品関連事業＞ 関東に新工場建設を計画



### ➡ 大同薬品工業株式会社が関東に新工場を建設



#### ➤ 目的：

- ・取引先ニーズへの迅速な対応
- ・高い製造品質と安定的な供給体制の整備
- ・BCP対策の一環として生産のリスク分散にも対応

#### ➤ 新工場の概要

名称	関東工場
建設予定地	群馬県館林市下早川町字内屋110番7
敷地面積	約27,000m <sup>2</sup>
工事終了年月	2019年末
稼働予定年月	2020年初頭
生產品目	ドリンク剤
生産能力	年間1億5千万本
設備投資額	約60億円

こころとからだに、  
おいしいものを。

## <食品事業> 健康・美容軸に力点を置いたヘルシーゼリー



### 👉 フルーツでキレイを応援する、たらみの新提案「Fruits & Beauty」

おいしくキレイに、うるおい美容ゼリー  
「Fruits&Beauty フルーツ&コラーゲン」



オレンジ



マンゴー



ピンクグレープフルーツ

ビタミンCたっぷり、ジュレとソースのフルーツデザート  
「Fruits&Beauty ビタミンCin」



オレンジと  
ラズベリーソース



マンゴーと  
ブラッドオレンジソース



グレープフルーツと  
ヨーグルトソース

こころとからだに、  
おいしいものを。



## 2. 当社グループのビジネスモデル

---

こころとからだに、  
おいしいものを。

# DyDoグループの変遷

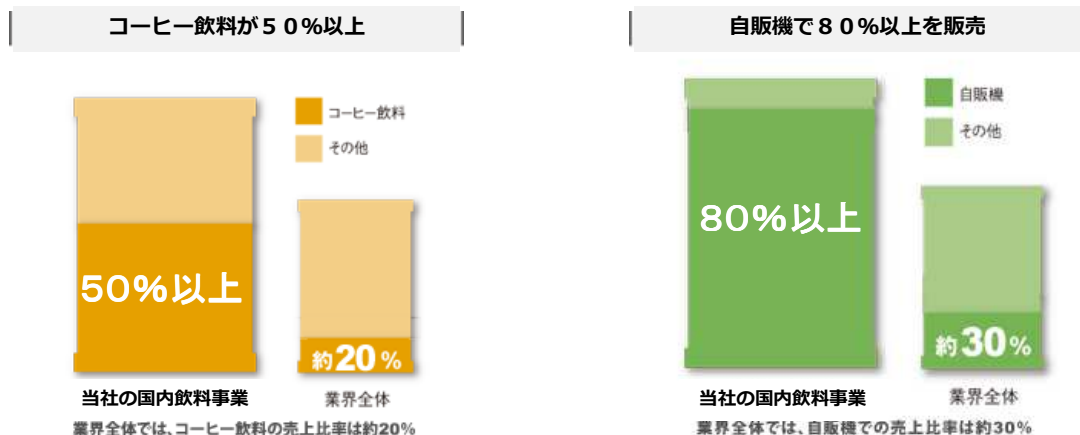


こころとからだに、  
おいしいものを。

# 国内飲料事業の特徴・強み



## ➔ コーヒー×自販機による安定した利益の確保



## ➔ ファブレス経営による効率的な経営資源の活用





こころとからだに、  
おいしいものを。

# 医薬品関連事業の特徴・強み

－ 大同薬品工業株式会社 －

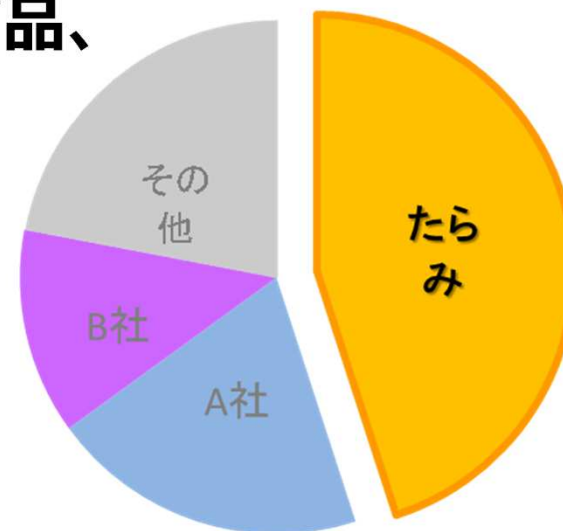


- ➡ **ドリンク剤の研究、開発、製造に取り組みOEMビジネスを展開**
- ➡ **医薬品・医薬部外品から、清涼飲料等、年間約50品目の開発に携わる業界トップシェア企業として高い収益性を維持**
- ➡ **安全安心な生産体制の維持強化を図りながら、業界No.1受託メーカーとしての飛躍をめざす**





- ➔ 2012年6月に100%子会社となり、グループ第3の柱として連結業績に貢献
- ➔ 高い知名度とブランド力により、フルーツデザートゼリー市場においてトップシェアを維持
- ➔ 今後はフルーツデザートゼリー市場での確固たる地位を築きつつ、より付加価値の高い商品、新たな市場、販売チャネルの開拓を志向



こころとからだに、  
おいしいものを。



### 3. 持続的成長の実現をめざして

---



こころとからだに、  
おいしいものを。

# グループ理念・ビジョン・スローガン



## グループ理念



人と、社会と、共に喜び、共に榮える。

その実現のためにDyDoグループは、ダイナミックにチャレンジを続ける。

## グループビジョン

- DyDoはお客様と共に。** 高い品質にいつもサプライズを添えて、「オンリーDyDo」のおいしさと健康をお客様にお届けします。
- DyDoは社会と共に。** グループ全体で生み出す製品・企業活動「オールDyDo」が、豊かで元気な社会づくりに貢献します。
- DyDoは次代と共に。** 国境も既存の枠組みも越えて、次代に向けて「DyDoスタンダード」を創造します。
- DyDoは人と共に。** 飽くなき「DyDoチャレンジ」で、DyDoグループに関わるすべての人の幸せを実現します。

## グループスローガン

こころとからだに、  
おいしいものを。



こころとからだに、  
おいしいものを。

# 中期経営計画「Challenge the Next Stage」 - 4つのチャレンジでNext Stageへ -



新規領域

“食や健康”関連の新規事業展開

2018年度  
売上高：2,000億円  
営業利益率：4.0%

新たな  
事業基盤  
の確立への  
Challenge

一層の業績向上 生産性の改善  
(安定キャッシュの創出)

既存事業  
成長への  
Challenge

既存領域



国内飲料事業



海外展開への  
Challenge

海外展開  
による  
市場の拡大

商品力強化への  
Challenge

イノベーティブな商品開発の実現

国内

海外



既存事業成長への

Challenge

自販機ビジネスモデルを革新し、  
キャッシュ・フローの継続的拡大を図る

商品力強化への

Challenge

「ダイドーブренд」のブランド力をさらに高め、  
トップブランドをめざす

海外展開への

Challenge

海外事業展開を加速し、トップラインの飛躍的成長を実現する

新たな事業基盤確立への

Challenge

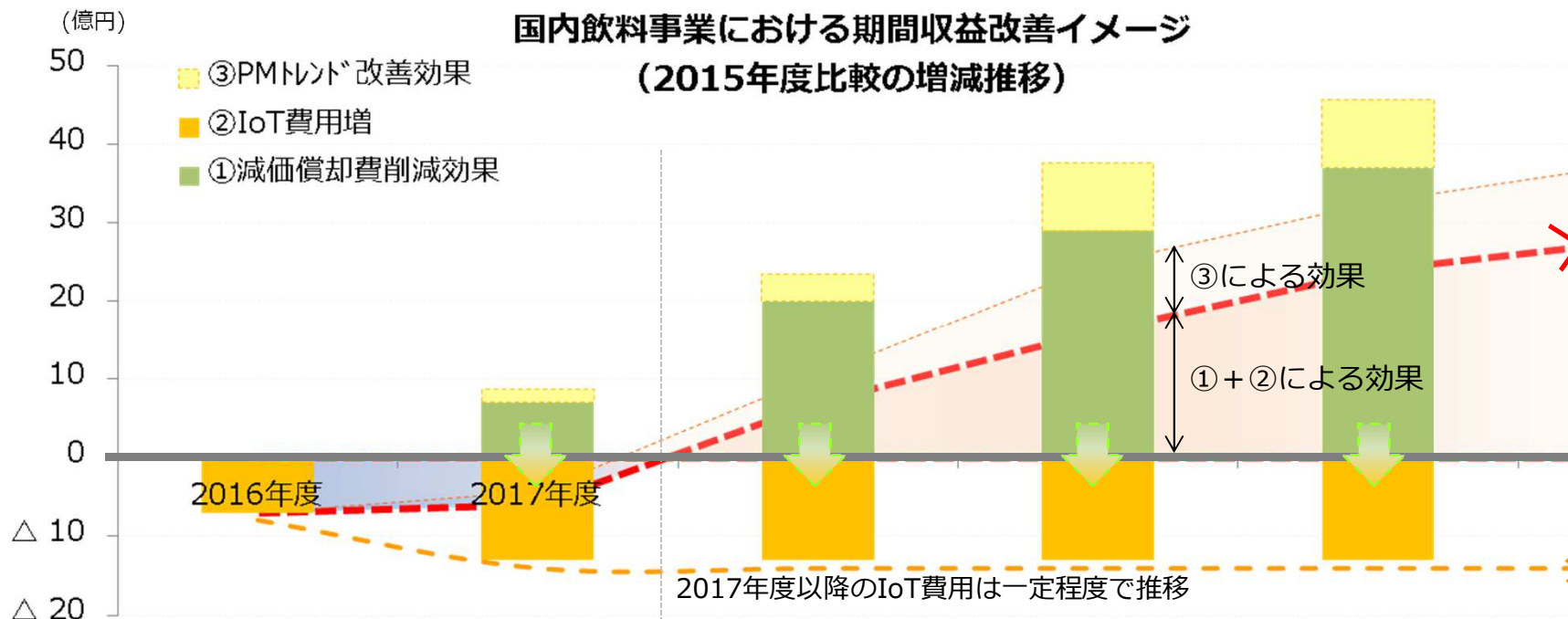
M & A 戦略により、新たな収益の柱を確立する

# キャッシュ・フローの継続的拡大に向けて



## ➡ 自販機ビジネスモデルの革新

- ① 自販機投入台数は維持しつつ1台当り調達コストを低減
- ② 低減したコストをIoT自販機投資に振り向ける
- ③ IoT自販機投入効果によりパーマシントレンドの改善を図る



国内飲料	2015年度	2016年度	2017年度(予)
設備投資額	93億円	68億円	66億円
減価償却費	98億円	98億円	92億円

# 海外飲料事業の強化・育成 – トルコ –



長期に めざす姿	トルコ市場での成長をベースにEU圏を展望	
事業の現状		
<ul style="list-style-type: none"> <li>「CAMLICA」「Saka」「Icim」など知名度の高いブランド</li> <li>トルコ国内(北部・南部)に5箇所の自社製造拠点</li> </ul>	S W	<ul style="list-style-type: none"> <li>相対的な市場シェアの低さ</li> <li>Yildiz社への依存度の高さ</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>人口増を背景とした市場成長力</li> <li>コーヒー、紅茶の飲用習慣</li> <li>新カテゴリーの可能性</li> </ul>	O T	<ul style="list-style-type: none"> <li>インフレ率</li> <li>為替変動</li> <li>地政学的リスク</li> </ul>

## アクションプラン

- ・ 販売体制の内製化
- ・ コアブランドへの集中・販促の効率化
- ・ 製造ラインの移設による効率化
- ・ 日本のノウハウを活用した新カテゴリー創出へのチャレンジ



## 2017年度収益改善計画

・ 粗利の増加	+ 884
・ 変動費他	▲ 625
・ 一時費用の解消	+ 249
計	+ 508(百万円)

為替 レート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2016年度実績 36.13円/TL</li> <li>・ 2017年度想定 33.00円/TL</li> </ul>
-----------	--

# 海外飲料事業の強化・育成 – マレーシア –



長期に めざす姿	イスラム圏における戦略拠点として中東・ASEANを展望	
事業の現状		
<ul style="list-style-type: none"> <li>マレーシアトップクラスのスナック菓子メーカー「Mamee」との合併事業</li> <li>Mamee社の販売力</li> <li>ドライ・チルドの自社製造設備</li> </ul>	S W	<ul style="list-style-type: none"> <li>相対的な市場シェアの低さ</li> <li>コアブランド育成が課題</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本製品に対する高品質イメージ</li> <li>高い市場成長性</li> </ul>	O T	<ul style="list-style-type: none"> <li>競争激化による価格低下</li> </ul>

## アクションプラン

- ・ チルドへの注力、ブランド育成
- ・ 飲料（ドライ）の安定販売、販促の効果的活用
- ・ 日本のノウハウを活用した新商品の上市



## 2017年度収益改善計画

・ 粗利の増加	+ 186
・ 販促広告効率化	+ 141
・ 変動費他	▲ 44
計	+ 283(百万円)

為替 レート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2016年度実績 26.44円/MYR</li> <li>・ 2017年度想定 25.00円/MYR</li> </ul>
-----------	--

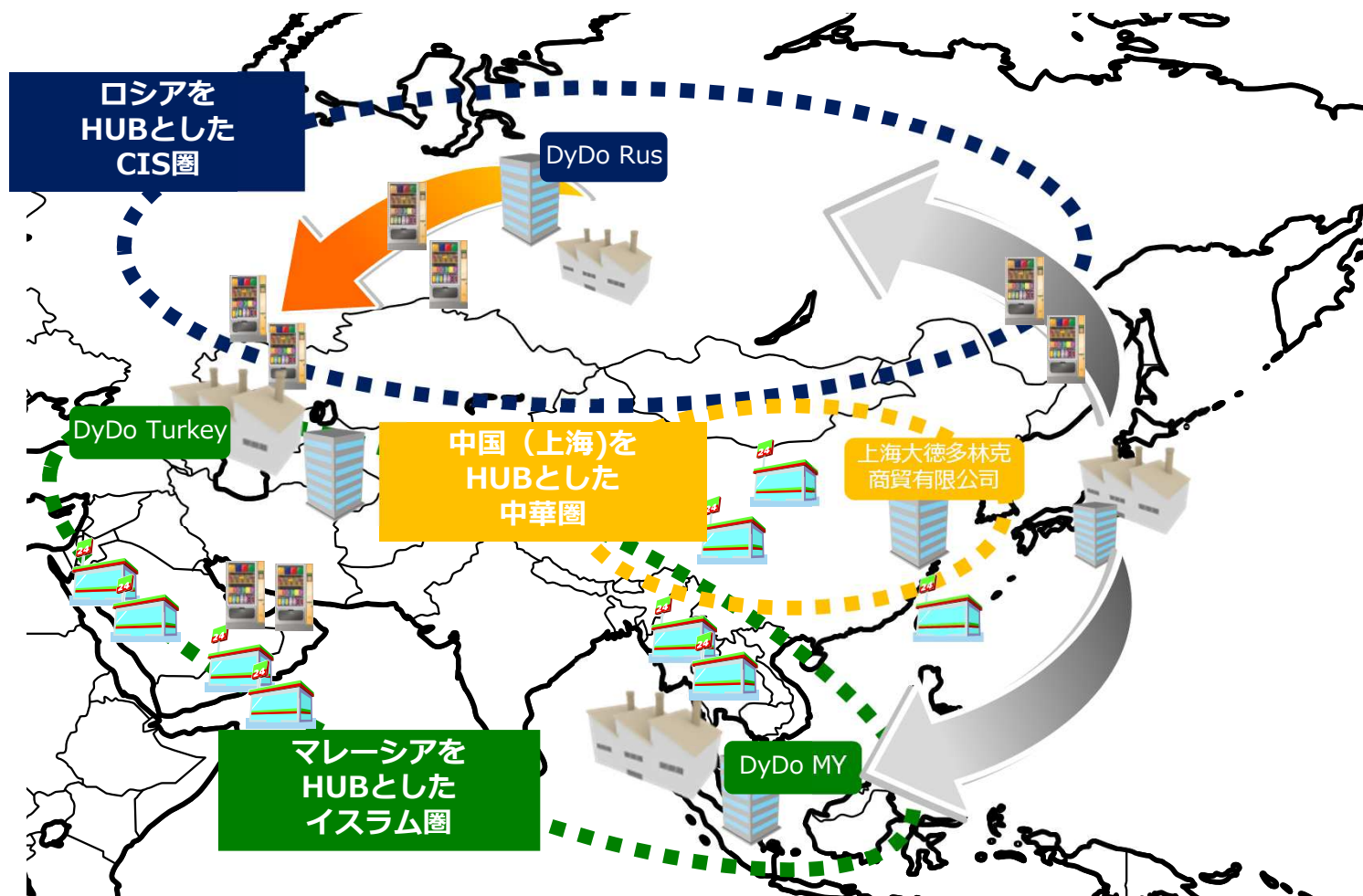


こころとからだに、  
おいしいものを。

# 海外飲料事業の将来像



➔ ロシアをHUBとしたCIS圏、マレーシアをHUBとしたイスラム圏  
上海をHUBとした中華圏に展開

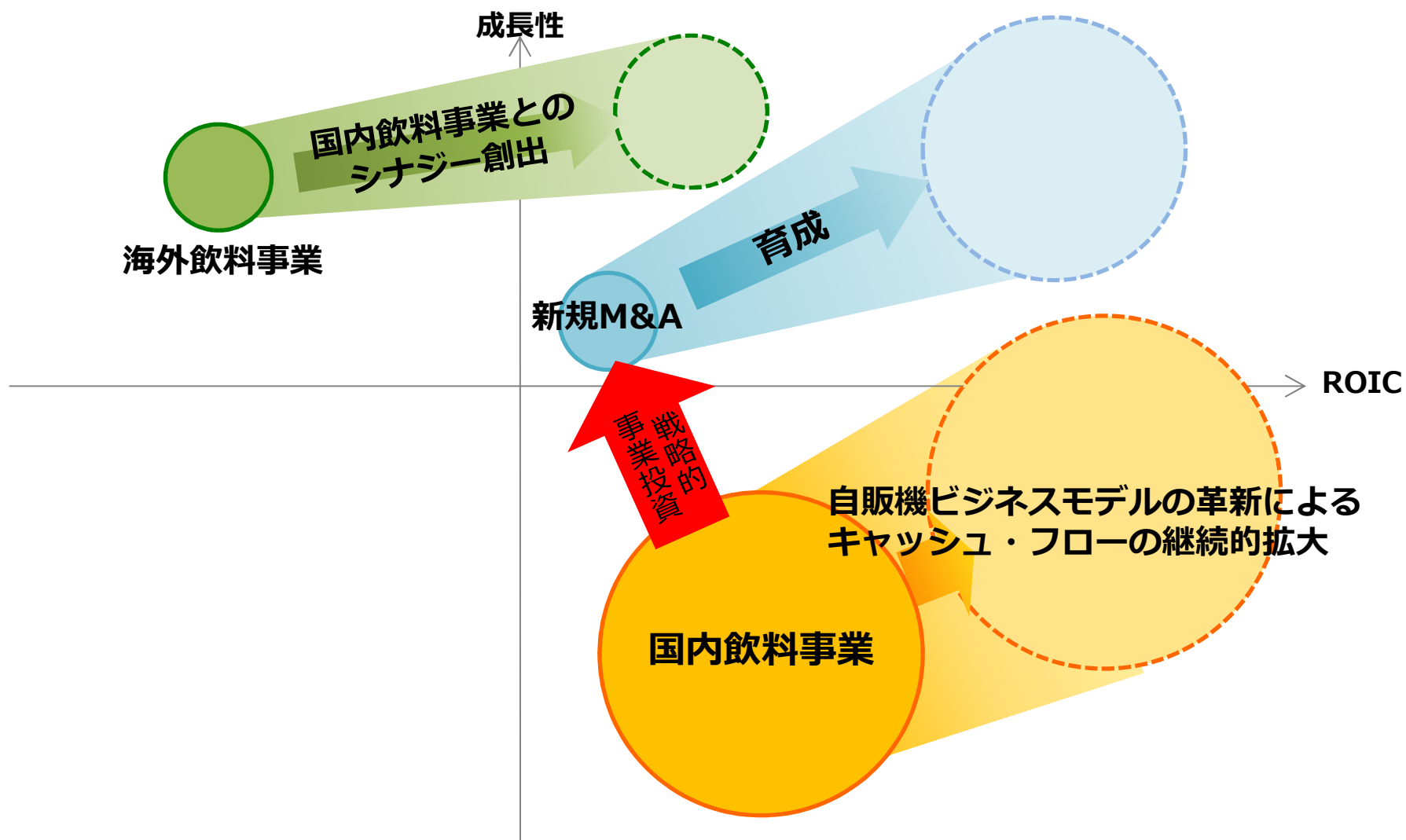


こころとからだに、  
おいしいものを。

# 成長戦略の方向性



## ➡ 事業ポートフォリオの強化・拡充





こころとからだに、  
おいしいものを。



## ■ APPENDIX

---

こころとからだに、  
おいしいものを。

# 季節変動 - 売上高 -



## 【連 結】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
2016年度	38,204	47,933	46,095	39,167	171,401
通期に占める割合 (%)	22.3%	28.0%	26.9%	22.8%	100.0%
2017年度	38,940	-	-	-	-

単位：百万円

## 【国内飲料】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
2016年度	29,451	33,982	33,740	31,104	128,278
通期に占める割合 (%)	23.0%	26.5%	26.3%	24.2%	100.0%
2017年度	29,698	-	-	-	-

## 【海外飲料】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
2016年度	2,939	5,729	5,012	3,053	16,735
通期に占める割合 (%)	17.6%	34.2%	30.0%	18.2%	100.0%
2017年度	3,331	-	-	-	-

## 【医薬品関連】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
2016年度	2,288	2,352	2,325	2,101	9,068
通期に占める割合 (%)	25.2%	25.9%	25.7%	23.2%	100.0%
2017年度	2,408	-	-	-	-

## 【食 品】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
2016年度	3,717	6,091	5,196	3,008	18,013
通期に占める割合 (%)	20.6%	33.8%	28.9%	16.7%	100.0%
2017年度	3,697	-	-	-	-

こころとからだに、  
おいしいものを。

# 季節変動 — 営業利益 —



単位：百万円

## 【連 結】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
2016年度	▲ 391	2,671	2,144	▲ 566	3,857
通期に占める割合 (%)	-	69.3%	55.6%	-	100.0%
2017年度	▲ 53	-	-	-	-

## 【国内飲料】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
2016年度	▲ 103	2,068	1,680	312	3,958
通期に占める割合 (%)	-	52.3%	42.5%	7.9%	100.0%
2017年度	354	-	-	-	-

## 【海外飲料】

- のれん等償却前
- 2016年度はトルコ事業取得手数料を含まない

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
2016年度	▲ 87	6	72	▲ 649	▲ 657
通期に占める割合 (%)	-	▲ 1.1%	▲ 11.0%	-	100.0%
2017年度	▲ 278	-	-	-	-

## 【医薬品関連】

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
2016年度	252	256	271	164	944
通期に占める割合 (%)	26.7%	27.2%	28.7%	17.4%	100.0%
2017年度	354	-	-	-	-

## 【食 品】

- のれん等償却前

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
2016年度	▲ 60	535	304	▲ 214	564
通期に占める割合 (%)	-	94.9%	53.9%	-	100.0%
2017年度	16	-	-	-	-

こころからだに、  
おいしいものを。



## 2017年度 第2四半期累計期間 連結業績予想の概要

【連 結】

単位：百万円

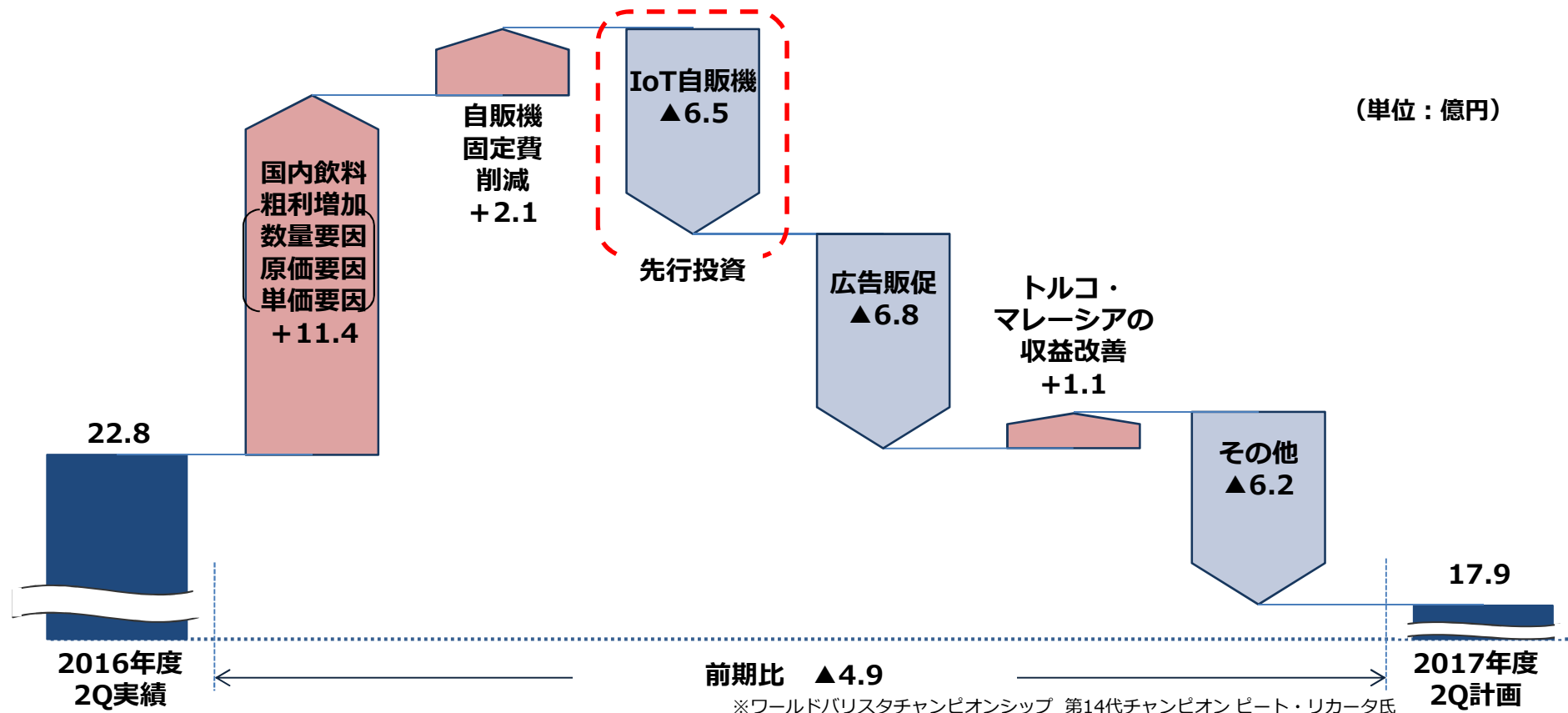
	2016年度 第2四半期 実績		2017年度 第2四半期 業績予想			
		構成比		構成比	増減率	増減額
売上高	86,138	50.3%	89,250	50.9%	3.6%	3,112
営業利益	2,280	1.3%	1,790	1.0%	▲21.5%	▲490
経常利益	2,218	1.3%	1,700	1.0%	▲23.4%	▲518
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,925	1.1%	850	0.5%	▲55.8%	▲1,075
<b>E P S</b>	<b>116.23円</b>		<b>51.31円</b>		<b>▲55.9%</b>	<b>▲64.92円</b>
<b>1株当たり配当金</b>	<b>30円</b>		<b>30円</b>		<b>0.0%</b>	<b>-</b>

こころとからだに、  
おいしいものを。

## 2017年度 第2四半期累計期間 営業利益増減要因



- ➡ 国内飲料事業の上期の販売数量は前期比2.3%増
- ➡ キリン向け「世界一のバリスタ※」シリーズの売上が期初から寄与（前年は4月からスタート）
- ➡ 自販機固定費の削減分は期初からIoT自販機展開へ振り向け
- ➡ 「ダイドーブренд」ブランドの強化に向けた広告販促を上期に積極化



こころとからだに、  
おいしいものを。



# 2017年度 第2四半期累計期間 セグメント別業績予想

## 【国内飲料事業】

※連結調整前の数値 単位：百万円

	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績		2017年度 上期業績予想			
			増減率	増減額		増減率	増減額
売上高	61,060	63,434	3.9%	2,373	65,450	3.2%	2,016
営業利益	891	1,964	120.3%	1,073	2,390	21.7%	426

※2015年度実績はロシア・中国の実績値を含む

## 【海外飲料事業】

※連結調整前の数値 単位：百万円

	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績		2017年度 上期業績予想			
			増減率	増減額		増減率	増減額
売上高	-	8,668	-	-	9,680	11.7%	1,012
営業利益	-	▲80	-	-	▲160	-	▲80
のれん等償却額	-	161	-	-	190	18.0%	29
のれん等償却後営業利益	-	▲241	-	-	▲350	-	▲109
取得時手数料	-	249	-	-	-	-	▲249
差引後営業利益	-	▲491	-	-	▲350	-	141
トルコリラ	-	38.43	-	-	33.00	-	▲5.43
マレーシアリングット	-	27.58	-	-	25.00	-	▲2.58

※2016年度よりトルコ・マレーシアを連結子会社化

# 2017年度 第2四半期累計期間 セグメント別業績予想

## 【医薬品関連事業】

※連結調整前の数値 単位：百万円

	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績		2017年度 上期業績予想			
		増減率	増減額	増減率	増減額	増減額	
売上高	4,548	4,641	2.0%	92	4,710	1.5%	69
営業利益	487	508	4.3%	21	350	▲31.1%	▲158

## 【食品事業】

※連結調整前の数値 単位：百万円

	2015年度 上期実績	2016年度 上期実績		2017年度 上期業績予想			
		増減率	増減額	増減率	増減額	増減額	
売上高	9,104	9,808	7.7%	703	9,770	▲0.4%	▲38
営業利益	524	475	▲9.4%	▲49	426	▲10.3%	▲49

こころとからだに、  
おいしいものを。



---

本資料に記載されている、当社グループの計画・将来の見通し・戦略などのうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の業績に関する見通しであり、これらは当社において現時点で入手可能な情報による当社経営陣の判断および仮定に基づいています。従って、実際の業績は、不確定要素や経済情勢その他リスク要因により、大きく異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。